



Business Report

第76期 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日



代表取締役社長

曾谷 太

Futoshi Sotani

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第76期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、感染抑制と経済活動の両立が進み、全国旅行支援やインバウンド需要の期待感から、一部業界では緩やかな回復の兆しが見受けられたものの、原油価格高騰に起因した材料調達コストの度重なる上昇や電気・ガス料金の急激な値上げ等により、事業環境は厳しい状況が続いております。一方、海外では各国中央銀行が金融政策を引き締め方向に転換させており、ウクライナ侵攻問題の長期化によるエネルギー・資源価格の大幅な上昇や、サプライチェーンの混乱などの影響により、当

社グループの経営環境は、依然として先行き不透明な状況が続くものと想定しております。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・蓄電池・建材、化粧品等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

特に、当社グループの主力製品である自動車部品向け樹脂製品の販売は、海外

市場におけるEV車の普及拡大を背景に関連製品の販売が好調に推移しました。しかしながら、電子部品製造用途は、世界的な需要低迷によりスマートフォンの生産台数が大幅に減少したことで、主要な関係業界の受注動向が減退し、当社グループの業績にも少なからず影響を及ぼしております。

当社グループは、事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続きグローバルな視野に立って将来的に成長が期待できる事業分野と市場に経営資源を重点的に集中させ、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けて当社グループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。

経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め
常に知恵を生かしながら
「お客様にとってなくてはならない」存在として
付加価値の高い製品 サービスを提供し また
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

SOMAR's Mission Statement
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.

SOMAR Corporation



社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

◆ 事業の内容

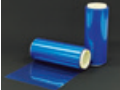


【商社とメーカー2つの顔を持つソマル】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「商事機能」と「メーカー機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



【事業セグメント】

	高機能材料事業	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高： 17,733 百万円 (前年比 7.1%増)	営業利益： 721 百万円 (前年比 0.4%減)	世界的なスマートフォン需要の低迷や、半導体不足による自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、海外子会社の受注動向が好調に推移したことに加え、EV関連部品向け製商品の販売が伸長した結果、売上高は増加しましたが、原材料・エネルギー価格の高騰による生産コストの上昇により、営業利益は減少しました。
	環境材料事業	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高： 4,757 百万円 (前年比 9.3%増)	営業利益： 172 百万円 (前年比 129.4%増)	板紙分野に注力した製品開発や、新たな分野への受注拡大に積極的に取り組むとともに、海外市場におけるビジネス展開が伸展したこと等により、売上高・営業利益は増加しました。
	食品材料事業	主な製商品：増粘安定剤（グァーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高： 2,443 百万円 (前年比 43.2%増)	営業利益： 143 百万円 (前年比 6.7%減)	家庭用加工食品向けの需要は堅調に推移しつつ、業務用加工食品向けの需要が回復基調に転じた状況下、原産地の天候不順や物流費用の増加等により、商材価格が上昇したことで売上高は増加しましたが、急激な円安や輸入コストの上昇の影響を受け、営業利益は減少しました。

◆ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(千円)

科目	前連結会計年度 2022年3月31日現在	当連結会計年度 2023年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	15,936,573	17,560,915
固定資産	5,774,958	6,133,747
有形固定資産	2,641,902	3,062,983
無形固定資産	111,273	114,663
投資その他の資産	3,021,782	2,956,100
資産合計	21,711,532	23,694,663
【負債の部】		
流動負債	*7,782,404	4,648,356
固定負債	201,964	4,262,421
長期借入金	-	4,000,000
資産除去債務	64,127	64,292
繰延税金負債	91,135	156,396
退職給付に係る負債	8,859	4,762
その他	37,842	36,970
負債合計	7,984,369	8,910,777
【純資産の部】		
株主資本	12,149,162	12,662,788
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	2,617,978	3,132,052
自己株式	△57,979	△58,427
その他の包括利益累計額	1,578,000	2,116,332
非支配株主持分	-	4,765
純資産合計	13,727,162	14,783,885
負債純資産合計	21,711,532	23,694,663

*前連結会計年度の流動負債には、「1年内返済予定の長期借入金 3,450,000千円」が含まれております。

◆ 株主の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式の総数	1,958,734株
株主数	1,429名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	47	2.4
株式会社三菱UFJ銀行	42	2.2
INTERACTIVE BROKERS LLC	40	2.1
秋元利規	40	2.1
ソマール従業員持株会	30	1.6
株式会社SBI証券	26	1.4

(注) 持株比率は自己株式(19,400株)を控除して計算しております。

連結損益計算書

(千円)

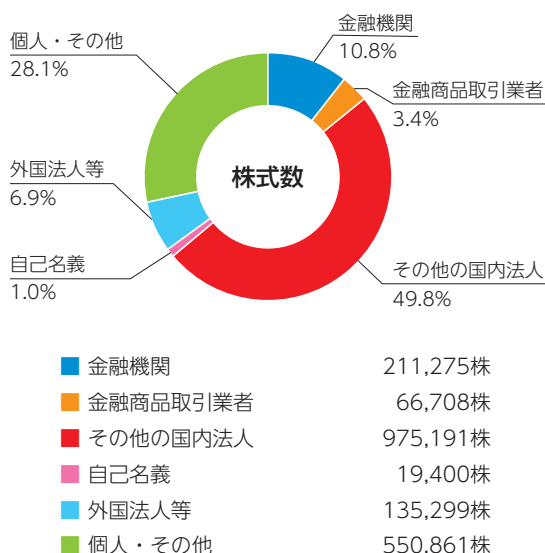
科目	前連結会計期間 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当連結会計期間 2022年4月1日～ 2023年3月31日
売上高	22,728,581	25,059,933
売上原価	18,776,711	20,834,485
売上総利益	3,951,870	4,225,448
販売費及び一般管理費	3,236,613	3,429,194
営業利益	715,257	796,253
営業外収益	181,765	143,659
営業外費用	31,802	53,457
経常利益	865,220	886,455
特別利益	-	171,676
特別損失	14,253	203,474
税金等調整前当期純利益	850,967	854,656
法人税等合計	156,124	243,839
当期純利益	694,842	610,817
非支配株主に帰属する 当期純損失(△)	-	△234
親会社株主に帰属する 当期純利益	694,842	611,052

連結キャッシュ・フロー計算書

(千円)

科目	前連結会計期間 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当連結会計期間 2022年4月1日～ 2023年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△470,060	△381,896
投資活動による キャッシュ・フロー	△401,591	△145,789
財務活動による キャッシュ・フロー	△102,128	452,390
現金及び現金同等物に 係る換算差額	202,722	240,727
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△771,057	165,431
現金及び現金同等物の 期首残高	5,472,077	4,701,019
現金及び現金同等物の 期末残高	4,701,019	4,866,451

所有者別株式分布状況



◆ 会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	ソマール株式会社
英文商号	SOMAR CORPORATION
設立	1948年2月26日
資本金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従業員	連結 460名 単体 333名

◆ 役員 (2023年6月28日現在)

代表取締役社長	曾谷 正樹
取締役	小林 次久
取締役	牛尾 成幸
取締役	関口 幸久
取締役	三村 撰昇
取締役	坂本 昇之彦
取締役	春日 孝俊
常勤監査役	今井 原晴
監査役	亀山 史信
監査役	中島 玲史

(注) 1.取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。
2.監査役亀山晴信氏及び監査役中島玲史氏は、社外監査役であります。

◆ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所 電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.somar.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

◆ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様及び一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内で、事業活動、製品情報、CSR関係情報等の様々な情報を掲載しております。

当社ホームページアドレスは次のとおりです。

<https://www.somar.co.jp>

